

## 第6回 長町・歩いて楽しい街並みづくり検討会 議事概要

- 1 日 時 令和8年3月25日(水) 13時00分～14時00分
- 2 会 場 太白区役所4階 第2会議室
- 3 出席者  
委員:伊藤善健委員、遠藤源太郎委員、柿沼敏万委員、加藤隆委員、小島博仁委員、  
小林利一委員、鈴木有希子委員、泊尚志委員、富田勲委員、不破正仁委員、  
堀内祥弘委員、三浦孝行委員、水谷哲也委員、脇田淳委員  
※柴山隆委員は欠席  
オブザーバー:蒔苗 芳寿氏  
コーディネーター:氏家滉一氏  
太白区(事務局):太白区長、まちづくり推進部長、長町地域活性化推進室長、  
長町地域活性化推進室 船水主査、木皿主査、小澤主事
- 4 次第・資料
  - 1 開 会
  - 2 挨拶  
・仙台市太白区長 浅野 吉昌
  - 3 議 事  
・(仮称)長町・街並みづくりプラン 2026 中間案に対する意見募集結果と最終案への反映について【資料1】  
・長町・街並みづくりプラン 2026 最終案について【資料2-1、2-2】
  - 4 その他
  - 5 閉 会

### 1 開会

### 2 挨拶

<太白区長より挨拶>

### 3 議事

<事務局より資料1～2に基づき説明>

不破座長：

- 資料1～2について、委員の皆様から意見・質問はあるか。

委員：

- (意見なし)

不破座長：

- 意見がなかったことから、最終案の内容で策定する。

### 4 その他

事務局：

- 本検討会は規約に基づき、本日をもって解散となる。
- 今後は、本検討会を引き継ぐ、地域が主体となるまちづくり協議会の設立が予定されている。委員の皆様には任意とはなるが、それぞれの立場で参画いただき、プランの進捗について引き続きご助言をいただきたいと考えている。

不破座長：

- 今回で検討会が最後となるので委員の皆様からご挨拶いただきたい。

泊委員（交通WG座長）：

- 会議を通して将来の長町の姿を皆さんと一緒に描くことができ、有意義な議論から多くのことを学ぶことができた。
- ここには、心強いメンバーが集まっている。将来に向けて、ひとつずつやるべきことに取り組んでいただければと思う。

伊藤委員：

- 交通管理者、警察官の視点から見てよくまとまった計画となった。周辺道路環境の変化等を踏まえ、交通規制の見直しも積極的に検討してまいりたい。

遠藤委員：

- 長町商店街エリアの賑わいをあすと長町・長町南を含めた長町地区に波及させるべく、事業を進めてきた。まずは、長町商店街エリアの賑わいづくりと、旧国道4号沿道の自転車と歩行者の安全性向上に向けた整備に着手していく。

柿沼委員：

- これからが、プランの実現に向けた重要な時期となる。住民の希望や期待を集約した、長町らしさを持ったまちづくりを皆さまとともに取り組んでいければと思う。

加藤委員：

- これまで取り組んできたことが形となった。時代の変化に合わせて、柔軟に対応しつつ、プランの実現に向けて頑張っていきたい。

小島委員：

- プランで役割とスケジュールが明確になり、取組みを進めやすくなった。実践部隊として、地域とともに頑張っていきたい。

小林委員：

- 長町は、地域外の人たちから住みよいまちだとよく言われるが居住形態も意見も様々である。
- 尚絅学院大学の学生が長町を食べ歩きして、グルメマップを制作した。こういった活動も、長町で活性化の取組みを行っている成果のひとつだと思う。

鈴木委員：

- 人口減少が課題となる今、昔ながらの街並みを残しながら、こどもたちを育てていきたい。

蒔苗氏：

- 道路空間社会実験では、データ分析等において連携させていただいた。今後も道路空間の社会実験等があれば、連携していきたい。
- メイン通りだけでなく、脇道の魅力にも気付けるような仕掛けにより、賑わいが生まれると思う。

脇田委員：

- 長町の活性化がバス利用の促進につながると期待している。引き続き、連携を図りながら公共交通の利用促進を図りたい。

水谷委員：

- 道路空間再整備について、短期的、中長期に分けた方針は妥当だと思っている。
- 今後に向けて、まちづくりと公共交通がどう連携していくのかという視点を持ちながら、一緒に

取組みを進めていきたい。

三浦委員：

- 仙台市交通局は長町を通る市電から始まり、今年で100周年を迎える。
- バス路線の生き残りに向けて、今年はいろいろな仕掛けを行っていく。長町の発展に向けた取組みとも連携していきたい。

堀内委員（利活用WG座長）：

- まずは、商店街を代表し、商店街活性化に向けたプランを策定いただき、感謝申し上げたい。商店街としても、プランの実践を担っていきたい。

富田委員：

- 道路空間社会実験では、渋滞にもかかわらず警察への苦情は来なかった。車線減少について、更に検討を続けるということは良かったと思っている。
- 4月から自転車の青切符制度が導入される。道路空間社会実験のような自転車通行空間の整備とともに、自転車のルールやマナーについても連携していきたい。

不破座長：

- 本検討会を通じて、長町らしさや歩くために何をしなければならないのかについて理解を深めることができるとともに、何を誰がするべきかということも、プランという形で明確にまとめ上げることができた。また、こういった取組みを続けることで、市民の歩くことへのリテラシーを高めることができたと思っている。
- 委員の皆様のこの2年間のご協力に感謝申し上げたい。

5 閉 会